

JR西労組第36回中央委員会開催！ 満場一致で18春闘要求決まる！

組合員と家族が希望を持てる

18春闘を全組合員で創り上げよう！

中央委員会で神戸地方本部を代表し、大矢明石車掌区分会副委員長が代表質問を行なった。

【安全について】

福知山線脱線事故から13年、「安全考動計画2017」が間もなく終わる中、のぞみ34号における台車への亀裂によりあわや大惨事という新幹線初の重大インシデントを発生させてしまった。同種事象はもちろん未知へのリスクに対して我々は備え、対策していかなければならない事を改めて学んだ。どんなにシステムや技術が進歩しても最終的に鉄道の安全を守り、創るのは我々働く「人」である。

【2018春闘について】

企業は株主への配当や内部留保の割合は上昇しているにも関わらず、労働者への対価である労働分配率は低下し続けている。JR西日本においては2017年度上期決算において2期ぶりの増収増益となった。これは日々第一線で働く西労組組合員の努力の賜物であり、「人」への投資である賃金については、黒字である以上、正当な配分を求める。

【業務課題について】

長時間労働の是正を始めとする働き方改革が叫ばれている。JR西日本においても、工務系統を中心として高止まりする工事量の平準化問題や各現場における適正な要員配置の問題等、「効率の良い働き方」実現へ課題は山積している。ドイツでは「頑張り」より「成果」が重視される社会である、思い切った新しい働き方を作る必要がある。また鉄道という職種においては正社員で担い、今いる契約社員については全員正社員化を求める。

【人材育成について】

神戸地本では一昨年より労使協議の上ルール化した夫婦間の勤務を合わせる仕組みを作った、分会で実施した育休者との意見交換では乗務員での復職を希望者も一定数いる。一方シングルマザーの組合員にとっては短日数勤務は無給の影響が大きく使いづらいつの声がある。どのような家庭状況であっても個々人がキャリア形成できる制度を作る必要がある。男性も育児に積極的に関わられるような環境作りが重要である。骨太運用についてNSは早期選抜であり、NS研修がL職登用への基本となるべきではない。骨太運用を含めた人材育成と賃金制度改正をセットで考えるべきである。

【政治について】

組織内議員である栗山議員の選挙区となる「連合西阪神地協」に加盟した、来年実施される統一地方選挙において神戸地本は総力を結集し必勝に向け、力を合わせて頑張る決意を申し上げる。



(荻山中央本部執行委員長)

創造・参加・実
の歴史に学び、安全を基礎に次代に責任あ



(議長さんに選出された大内書記長)

JR西労組中央本部は、二月八日（木）大阪リバーサイドホテルにて、「結成25年の歴史に学び安全を基礎に次代に責任ある運動を進めよう」のメインスローガンのもと、第36回中央委員会を開催した。委員会は、大内神戸地本書記長が議長団に選出され、昨年発生した新幹線における重大インシデントを始めとした安全問題、また一八春闘について過去最高の収益が見込まれる中、組合員と家族の負託に答える春闘を作り上げること、組織の充実強化、要員不足を含めた多岐に亘る業務課題などについて、多くの中央委員から発言があり、本部提案通り採択され、荻山中央執行委員長の団結ガンバローで閉会した。

【要求の基本的な考え方】

- 要求方式は、平均賃上げ方式、純ベア要求とする。
<平成29年4月1日諸元>

| | |
|---------------------------------|----------|
| 1) 社員数 | 28,470人 |
| 2) 平均年齢 | 41.0歳 |
| 3) 平均勤続 | 20.3年 |
| 4) 平均の基本給、エリア手当及び扶養手当の合計額(一般社員) | 316,616円 |
- 仕事給昇給額表に基づく基準昇給の完全実施を確認する。
- JR連合統一要求に則り**3,000円のベースアップ**を求める。
- 55歳以降の基本給調整率の廃止を求める。
- 年間臨給5.7箇所**(夏季2.85箇所、年末2.85箇所)を求める。
- シニア・シニアリーダー社員の基本給については、同一労働同一賃金の観点から社員と同様にすることを求める。
- シニア・シニアリーダー社員の精励手当を期末手当に改め、社員と同カ月分を求める、また初年度の1回目からの支給を求める。
- 契約社員の時については、誰もが時給1,000円とし40円の賃金引き上げと、精励手当について増額を求める。
- 契約社員・シニア社員の精励手当について増額を求める。 等々